

土地利用に関する事前協議書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

那須烏山市長 あて

住所 那須烏山市大金240番地
氏名 株式会社 大金工業（株）
代表取締役 大金 太郎

那須烏山市土地利用適正化条例第6条に基づき、次のとおり協議いたします。

1	土地利用の目的	〇〇（大字名）地内における工場新設事業										
2	土地利用の位置	那須烏山市田野倉〇〇番地 外〇筆（別添一覧表のとおり）										
3	土地利用の効	当地は弊社の他工場と近く、生産性の向上と輸送コストの効率化に期待できる。										
4	土地利用の面積 (単位：㎡)	私有地					公有地				合計	
		田	畑	山林原野	宅地	その他	小計	道路	水路	その他		小計
		登記簿		345	5,592			5,937			100	100
	実測		340	5,540			5,880			100	100	5,980
5	土地利用に係る全体計画の概要	土地利用計画				施設計画						
			区分	面積(㎡)	比率		区分	棟数等	建築面積等			
		公共用地	消防施設	35	0.6	公共施設	防火水槽	1か所				
		公益用地				公益的施設						
		利用目的用地	工場用地 周辺緑地	3,350 1,235	56.0 20.7	利用目的施設	生産施設	2棟	2,200			
		その他	調整池 福利用地	850 510	14.2 8.5	その他	調整池 運動場	1か所 1か所				
		計		5,980	100.0	計						
			計画人口	雇用予定人員80名（正規50名、臨時30名）								

6 公共施設等 整備計画の 概要	区 分		既 存 施 設 と の 関 連		
	公共施設	道 路	取付は県道宇都宮烏山線に接続する。道路管理者と協議の上安全面に配慮する。		
		排 水 路	排水は敷地内専用調整池を経由し〇〇土地改良区の管理水路を経て一級河川〇〇川へ放流する。		
		水 道	市営水道の利用を予定しており、給水計画を立てて市と協議する。		
		河 川 水 路	排水量は別紙排水計算書のとおり。調整池により流量を調整し放流する。下流耕作者等からは同意取得予定。		
		防 水 防 砂 施 設	切土、盛土部分はブロック積又は芝吹付け等法面保護工事を行う。		
		公 園 広 場	該当なし。		
	そ の 他	該当なし。			
	公益的施設	教 育 施 設	該当なし。		
		鉄 道 等 交 通 施 設	該当なし。		
電 気 事 業 用 施 設		東京電力(株)と協議する。			
そ の 他		福利用地については、地元の利用を協議する。			
7 環境保全計 画の概要	周辺の環境保全計画		敷地周辺に緑地を設け、周辺の自然環境との調和を図る。また、敷地入口には低木を設ける等景観の維持に努める。		
	公害防止計画	排出される環境汚染物質の量	生活雑排水及びし尿〇〇m ³ /日		
		排出先とその及ぼす影響の程度	農業用水路を経て一級河川〇〇川に排出するが、合併浄化槽で三次処理の後BOD20ppm以下として調整池を経由して放流、雨水も流量調整し放流することで影響はない。		
		防 除 対 策	生活雑排水及びし尿については、合併浄化槽を設置し三次処理する。		
8 土地等に関 する予定対 価の額等	地区	地目(現況)	面積(m ²)	単価(円/m ²)	予定対価の額(円)
	A	畑	340	1,800	612,000
			計 340	平均 1,800	計 612,000
	B	山林	4,590	1,200	5,508,000
			計 4,590	平均 1,200	計 5,508,000
	C				
			計	平均	計
	D				
		計	平均	計	
計					
		計 4,930	平均 1,241	計 6,120,000	
		計 4,930	平均 1,241	計 6,120,000	